

入札契約制度改革の検討

(結論; 今回の評価配点では、評価方法を変化しても落札者に変化なし)

すべての公共工事に入札契約に「総合評価方式」を適用とする目的で、「品確法」が平成17年4月1日に施行された。
 総合評価方式とは、「価格」及び「価格以外の様々な要素」が総合的に優れた契約内容を提示した者を当該契約者とする方式。
 背景には、公共投資が減少している中で、価格競争が激化し、公共工事の品質の低下を招くことが懸念されたこと。(参考資料:立法と調査 2009.12 No.299)
 国土交通委員会調査室 横関洋一

表1. 入札方法比較

	随意契約	指名競争入札	一般競争入札	総合評価方式
メリット	—	<ul style="list-style-type: none"> ・工事放棄や手抜き工事の心配なし ・技術審査の負担を軽減できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・透明性の確保(「予定価格の事前公表」や「最低制限価格」事前公表) ・公正な競争の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・価格以外の多様な要素おも考慮し、価格と品質に優れた内容の契約となる
デメリット	—	<ul style="list-style-type: none"> ・「談合」を行いやすい ・発注者と事業者との癒着を招きやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・低価格化が進み、「くじ引き」も出始めた 	<ul style="list-style-type: none"> ・評価項目の設定、配点の設定が重要となる ・評価方法が各種ある

表2. 各種評価

予定価格 7,015,210,000 円

評価値(配点200点) = 価格評価点(配点100点) + 技術評価点(100点)

価格評価点 = $100 * \text{最低入札価格} / \text{入札価格}$

業者	今回の総合評価点	除算方式による評価値の算出(国の原則)	加算方式による評価値の算出
大成建設(株) 入札価格(千円) 6,120,000 技術評価点 28	評価点 = 価格評価点 + 技術評価点 $= 100 * 6,120,000 / 6,120,000 + 28$ 評価点 = 128.000	評価値 = 技術評価点 / 入札価格 $= (\text{標準点} + \text{加算点}) / \text{入札価格}$ ・標準点 = 100(0)、加算点 = 28 評価値(100) = 2.0915E-05 評価値(0) = 4.5752E-06	評価値 = 価格評価点 + 技術評価点 ・価格評価点 = $100 * (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格})$ ・技術評価点の満点 = 100(30)、技術点 = 28(8.4) 評価値(100) = 40.761 評価値(30) = 21.161 評価値(12) = 16.121 評価値(10) = 15.561
鹿島建設(株) 入札価格(千円) 6,700,000 技術評価点 98	評価点 = $100 * 6,120,000 / 6,700,000 + 98$ 評価点 = 189.343	評価値 = 技術評価点 / 入札価格 $= (\text{標準点} + \text{加算点}) / \text{入札価格}$ 標準点 = 100(0)、加算点 = 98 評価値(100) = 2.95522E-05 評価値(0) = 1.46269E-05	評価値 = 価格評価点 + 技術評価点 ・価格評価点 = $100 * (1 - \text{入札価格} / \text{予定価格})$ ・技術評価点の満点 = 100(30)、技術点 = 98(29.4) 評価値(100) = 102.493 評価値(30) = 33.893 評価値(12) = 16.253 評価値(10) = 14.293
評価結果(落札者)	鹿島建設(株)	鹿島建設(株)	技術評価点満点12点まで、鹿島建設(株)